

木全莉杏 旭野高校

進学先:岐阜大学

合格校:岐阜大学 愛知医科大学 藤田医科大学 中部大学

入塾時期:高校3年生4月

①創ゼミという塾について

私は高3の4月に入塾しました。部活引退が3年の11月だったため、中々勉強時間の確保ができず大変でした。そんなときに入塾し、最低限やらなければならないことや今後どうしていかなければならないかなどを先生方にご指導頂きました。また、創ゼミは周りの努力し頑張っている子たちをみてさらに自分も頑張ろうと思える環境で、中々受験モードに入れなかった私にとって刺激を与えてくれる場所でした。

②特に力を入れて頑張った科目

私が特に頑張った教科は英語です。中学の頃からずっと英語には苦手意識があり、最初の方は共通テストの英語も時間内で半分しか読めないほどでした。しかし、英単をしっかりと覚えるようになってから英語の読みやすさが劇的に変わり最後まで読みきれようになりました。皆のように学校終わりなどは時間がなかったため、行き帰りの電車や学校の休み時間で少しでもターゲットを見るようにしました。また、塾の演習などで出てきた分からない単語をメモしたり、単語などの中でもつづりが似ていて迷ってしまうものは紙にまとめておきました。

③共通テスト対策について

最初の頃、私はどの教科も全くと言って点数が取れませんでした。全ての教科、最後まで解ききることすらできなかったです。しかし英単などの基礎的なことを頭に入れながら、塾で何回も繰り返し共テ対策をすることでどのような時間配分、スピードで解いていけばいいかなどをしっかりと身体で覚え理解することができました。また、私は模試などの本番に弱いタイプでした。塾では点数がとれるのに、模試では全くとれなくなります。多分、模試などでは焦ってしまい時間配分を気にする余裕がなかったからだと思います。そういった所も塾でたくさん共テ対策をしたお陰で、最初の頃よりは落ち着いて本番に望むことができました。

④小論文について

私は後期試験で小論文をやりました。直前まで全く書くことが出来なかったので、とても焦りました。後期試験で受からなければいけないというプレッシャーと、全く書くことが出来ない自分に苛立ち中々書き始めることすらできませんでした。小論文は最初私は簡潔に書くこと、同じことを何度も繰り返さないこと、課題文の文章を抜き出しすぎて文のほとんどを使ってしまうことなどを直すのに苦労しました。何回も書いていくうちに最初よりは書けるようになった感触はあったけれど、試験の日まで自信は全くありませんでした。面接と小論文だけで逆転合格する

ことができるだろうか。そればかり考えていました。試験当日も練習していた文字数と違う文字数で出題され、とても焦りとにかく最後まで埋めることしか考えていませんでした。自分でもなぜ受かることが出来たのか分かりません。しかし-18点という大きな点を覆すことが出来たのは、後期試験まで苦しみながらも頑張ったからだと思います。小論文は本当に自分が書けているのか、不安になることも多いと思います。けれど自分を信じて、いつも通り書けば大丈夫だと思います。

⑤塾の小テストについて

塾の小テストのおかげで、共通テストの点数が取れるようになったと言っても過言ではありません。部活引退までは時間がなかったため、塾の小テストに合格するために英単や漢文句形などを頑張っていました。英単や漢文句形などの基礎的なことを覚えきったあたりから安定して点数が取れるようになりました。4月入塾なので、英単の小テストも漢文句形の小テストも1度に全て覚えなければならず、大変で中々最初は合格できませんでした。しかし、高2の200語ずつの英単テストに参加するようになり少しずつ覚え全て合格することができました。どんな形でも、塾の小テストの合格のために勉強するだけで必ず基礎的なことは定着します。受験にはコツコツ積み重ねが大事になります。必ず塾の小テストは合格し、後々基礎が出来ていなくて追いつめられることのないようにすべきです。

⑥後輩塾生のみなさんに伝えたいことは、2つあります。1つは、基礎的なことをしっかりとやっておくことです。私は基礎が全くできていなかったのでもともと苦労しました。共通テストはなんとか切り抜けられても、二次試験はそんな簡単にいきません。英語なら英頻、英単を完璧にしておくべきだと思います。また、私は基礎なし理科2科目にとっても苦戦しました。入試直前に焦っても、理科はどうにもなりません。夏頃までに理科社会を固めておく必要があると思います。私は結局共通テストで理科2科目が足を引っ張って、目標としていた所には届きませんでした。皆さんはそのような事がないように！そして2つ目は最後までだらけないこと、あきらめないことです。私自身、共通テストが終わり周りが私立で決まり始めたあたりから勉強に力が入らなくなりました。周りを羨ましく思ったり、やろうと思ってるのに中々手につかなかったり、二次試験の前は誰しもそんな感情になります。そこからいかに早く気持ちを切り替えられるかが大事です。私は少し切り替えるのが遅く、それが前期不合格につながったのだと思います。しかし、前期試験のあと後期試験まであきらめずに頑張りました。その結果後期試験での合格を勝ち取ることができたと思います。なので、最後の最後まであきらめずに挑んで欲しいです。合格でも不合格でも、必ず自分の良い経験になります。これから、大変なこと辛いことあると思いますが、自分の大学生になった姿を想像して頑張りたいです。応援しています！